

6月2日(日)知床未来中学校体育祭。9日(日)羅臼・春松小学校、23日(日)羅臼幼稚園、7月7日(日)春松幼稚園運動会が予定通り無事終了することができました。

知床未来中学校は、開校した昨年は外構工事がまだ終わっていなかったため、小学校のグラウンドを借りての体育祭でした。今年、グラウンドが整備されて初めての体育祭でした。

当日朝は、激しい雨が降り開催も危ぶまれましたが、生徒入場の時間に合わせるように太陽が顔を出し、無事開催できました。

9日の小学校の運動会は、曇り空でしたが雨が降ることもなく最後まで行うことができました。

今までの練習の成果を発揮するため、子供たちはどの競技も一生懸命取り組んでいました。

園児・児童生徒が一人一人が力を合わせて精いっぱい取り組んで活動してきたことは、今後の生活でもきっと活かされるのではないかと思います。



知床未来中学校 ↑



羅臼幼稚園 ↑ ↓



羅臼小学校 ↑



春松小学校 ↑



春松幼稚園 ↑

羅臼町幼小中高の教育 企画編

幼稚園・小学校・中学校・高校の2019年度の取り組み

令和元年度 羅臼幼稚園の教育

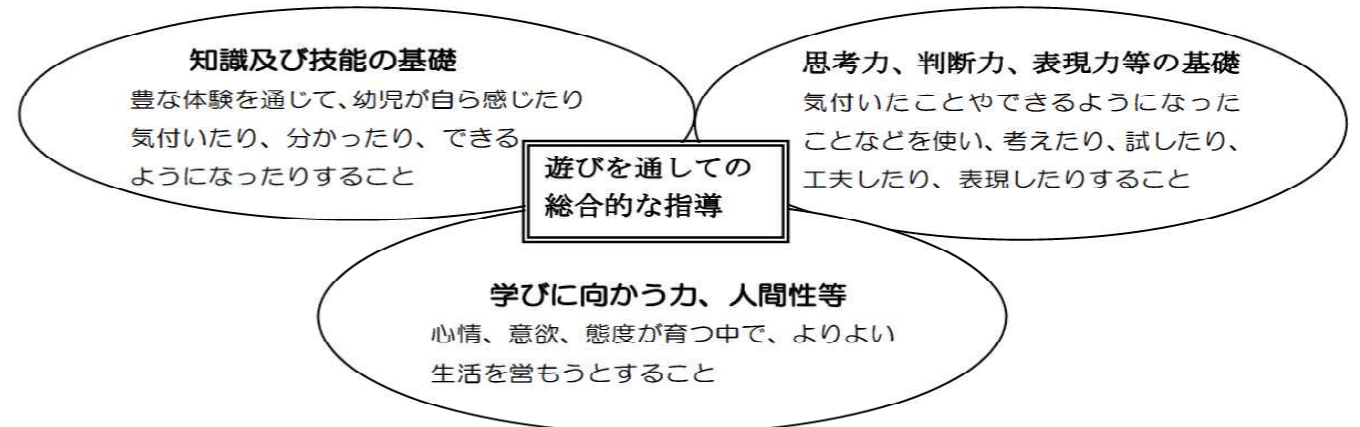
【企画編】

幼稚園教育目標

心身ともに健やかで、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

げんきな子 やさしい子 がんばる子

幼児教育において育みたい資質・能力が感じられる育ちや、学びにつながる遊びや育ってほしい力の検証



頑張りを認め合える 子どもの育成

- 失敗しても大丈夫、助けてくれる、頑張りを認めてくれる関係を築けるために必要な環境と教師の役割を探る。

- 友達に伝わりやすい話し方、友達の言いたいことを理解しようとする姿を目指す。



遊びの中で学びに 向かう力を育む

- 幼児が夢中になって遊ぶ姿から、何を感じ、何を学んでいるかをしっかりみとり、学びの過程を大切にします。

- 自分の思いや考えを表現し、伝え合ったり、考えを出し合ったり、協力したりして自らの考えを広げ深める「対話的な学び」の姿の実現を目指す。



海洋教育パイオニア スクールの取組

- 地元の海への関心・意欲の高まり、海を大切にする気持ちを育む。

- 稚魚放流
- 昆布学習
- 津波学習
- 清掃活動

- 自分達の住んでいる羅臼を知り、地元の産業に興味・関心をもち、知床学へつなげる。

- 市場見学
- クマ学習
- 自然探索



今年度は『対話的な学びを目指して』とし、幼児が自分達の考えを言葉などに表してそれを友達と共有し、伝え合うことを通して、考えを広げ、深めることを目指し、実践していく。

【教育目標】心身ともに健やかで、心豊かでたくましく生きる子どもの育成
げんきな子・やさしい子・がんばる子



【目指す子ども像】
自分の考えを広げ、深めることができる子ども
～考えを表現し、共有し、伝え合うことを通して～

考えを表現し、伝えあえる 子どもの育成

- ・ 教師間の話し合いによって一人一人の幼児を多面的に捉え、幼児の『育ち』や『思い』を振り返る。
- ・ 幼児が考え、伝え、対話を通して考えを深めていけるような環境を用意する。
- ・ 幼児の驚きや不思議をみんなで共有したり、探求の輪が広がるようにしていく。



家庭との連携



- ・ 家庭との信頼関係を築き、引き続きブログ、ドキュメンテーション等、様々な形の情報発信に取り組む。
- ・ 家庭での体験や夢中になっていることなどの情報から『幼児のつきたい力』を共有していく。
- ・ 保護者の立場での視点で考え、開かれた園を目指す。



地域との連携



- ・ 海洋教育パイオニアスクールプログラムを通し、普段当たり前のようにある環境をより身近に感じられるような活動をしていく。
- ・ 地域の産業に興味をもち、幼児同士で考えたり、地域の人に聞いたりする機会を作っていく。
- ・ 地域の人々との繋がりや出会いを大切に保育活動の工夫を図る。



本校の学校教育目標

ふるさと羅臼を愛し、未来を担う、人として豊かな心と確かな力を身につけた児童の育成

校訓
明るく強い子ども
創造性豊かな子ども
勤労を尊ぶ子ども

学校経営の重点

繋がりを生かし子どもの成長が「実感」できる教育を目指す

羅臼小学校 学びの視点

学力の向上

- 1 基礎学力の定着
 - ・ 算数におけるTTの授業や習熟度別の授業の実施
 - ・ 土曜授業の実施と保護者の参画
 - ・ 高学年専科授業(理科・音楽・家庭科・英語、外国語活動)の実施
 - ・ おき勉による主体的な家庭学習の取組
 - ・ 通級指導教室の効果的な活動
 - ・ PC教室の放課後の効果的な活用
- 2 読書活動の充実
 - ・ 朝の読書
 - ・ 「こぐまちゃん」サークルによる読み聞かせ
- 3 各種検査・調査の分析と改善プランの立案・実施

基本的な生活習慣の定着

- 1 いい顔 いい声 いい動き
 - ・ 児童：いい顔いい声いい動き発見カード
 - ・ 思いやりの標語運動
- 2 異年齢集団
 - ・ たてわり活動(清掃、運動会など)
 - ・ 委員会・クラブ活動
- 3 生活アンケート
 - ・ 集計・分析し、保護者への公表と改善

健康・安全教育の充実

- 1 食育
 - ・ 給食指導、フッ化物洗口、歯科指導、肥満指導
 - ・ 栄養教諭による食育指導
- 2 生と性の学習
 - ・ ジェンダー教育の推進
- 3 体力の向上
 - ・ スポラタイム、体づくり運動の充実
- 4 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進
 - ・ 生活リズムチェックシートの活用
- 5 防災教育の充実
 - ・ 火災・地震・津波対応の訓練
 - ・ 1日防災教室の実施
- 6 安全意識の醸成
 - ・ 安全指導、子ども110番の家訪問
 - ・ 安心・安全メールの活用

外国語科(活動)・総合的な学習の時間の充実

- 1 外国語科(活動)
 - ・ ALTの活用
 - ・ 教材の工夫と評価等の実践研究
 - ・ 全学年での実施
- 2 ふるさと学習
 - ・ 地域素材・人材・施設の活用
 - ・ 「学びの連続」
羅臼幼稚園・未来中学校との連携
 - ・ 知床学を基盤とした海洋教育の推進
 - ・ 北方領土学習の充実
- 3 情報教育
 - ・ ICTの活用
 - ・ 情報モラル・マナーの指導体制整備
 - ・ プログラミング教育の実践研究
- 4 ユネスコスクール活動

令和元年度 春松小学校の教育【企画編】

学校の教育目標

郷土の発展に役立つ実践力のある社会人となるために、勤労を尊び、仲良く助け合い、豊かな情操と高い知性を持ち、何事もやり抜く心身ともに健康な子供を育てる。

目指す子ども像

- ・元気な子（たくましい子） → 心身の健康・勤労・克己心
- ・考える子（考えを深める子） → 基礎力・思考力・実践力
- ・やさしい子（思いやりのある子） → 生命尊重の精神・共生力・郷土愛

今年度のテーマ

自分の思いを伝えあう

～「学びの喜びにあふれる学校づくり」を通して～

元気な子	考える子	やさしい子
<p>【重点】 ◎自らつくる力の育成</p> <p>○安全・安心・清潔な学校生活の確立</p> <p>①清掃指導の充実と環境美化意識の向上</p> <p>②児童の危険回避能力を高める安全教育の充実</p> <p>③学級係・児童委員会活動の活性化</p> <p>○体力・運動能力の向上</p> <p>①運動に親しみ、基礎的・基本的技能の定着を図る体育授業の充実</p> <p>②めあてをもち、継続的に体力づくりに取り組む態度の育成 (縄跳び・外遊び・徒歩通学の奨励等)</p> <p>③新体力テストの実施と指導の工夫改善</p> <p>○発達段階に応じた計画的な健康教育の実施</p> <p>①基本的生活習慣の確立</p> <p>②健康・安全に対する自己管理能力の育成</p> <p>③食に関する指導の充実</p>	<p>【重点】 ◎自ら学ぶ力の育成</p> <p>○基礎的・基本的な学習内容の確実な定着</p> <p>①言語活動の充実によるすべての学習の基盤となる言語能力の育成</p> <p>②学習規律の徹底(学習規律と表裏一体の指導規律)</p> <p>③家庭学習習慣の定着と質の向上(授業と関連させた取組)</p> <p>○学ぶ意欲の向上</p> <p>①児童の実態把握と教材研究の充実</p> <p>②ねらいを明確にしたわかる授業の創造</p> <p>③問題解決的・体験的な学習の充実</p> <p>④総合的な学習の時間の充実(ESDの推進)</p> <p>○校内研修の充実</p> <p>①授業研究を中心とした組織的・計画的な研修の充実</p> <p>②外部講師を招聘した授業改善の推進</p> <p>③各種研修会・研究会への参加及びその普及還元による教員個々の職能向上</p> <p>④新学習指導要領の円滑な実施に向けた取組</p>	<p>【重点】 ◎自らかかわる力の育成</p> <p>○豊かで温かい人間関係の醸成</p> <p>①子供の居場所づくりと絆づくりを推進する学級経営の充実</p> <p>②言語環境の整備(「挨拶・返事・言葉遣い」の意識化)</p> <p>③生徒指導の充実</p> <p>④育てたい力を明確にした異年齢集団活動の充実</p> <p>○道徳教育の充実</p> <p>①教育活動全体による児童一人一人の道徳性の育成</p> <p>②道徳的实践を促す道徳科の多様な指導方法の確立と評価の改善・工夫</p> <p>③道徳教育推進教師を中心とした協働的な指導体制の充実</p> <p>④道徳科授業の公開と家庭・地域との連携</p> <p>○心を耕す読書活動の推進</p> <p>①読書指導の充実と読書習慣形成の推進</p> <p>②家庭・関係機関との連携による読書環境の整備</p>

令和元年度

羅臼町立知床未来中学校【企画編】



【校訓】

「ふるさとに生き、未来を拓く」

◇目指す生徒像◇ 「自分やふるさとの未来を創る生徒」

- ① 意欲を持ち自ら学び、羅臼の海のように深く考え課題を解決していく生徒
- ② 羅臼を流れる川のように清らかな心を持ち、よりよい人間関係を築いていく生徒
- ③ 羅臼岳のように健やかでたくましい体力と精神力を身につけていく生徒

【今年度の重点】

ノート指導に
力を入れます

1. 基礎基本を確実に身に付けさせる学習指導の展開

- (1) 新学習指導要領がめざす3つの資質・能力の形成
 - ①知識及び技能の習得
 - ②思考力、判断力、表現力等の育成
 - ③学びに向かう力、人間性等の涵養
- (2) 個に応じた指導の充実、
- (3) 社会的・職業的自立をめざすキャリア教育の充実
- (4) 研修の充実と不断の授業改善

2. 望ましい人間関係の醸成

- (1) 学習活動や学校生活の基盤となる学級経営の充実
- (2) 自己実現をめざす生徒指導の展開

3. 特別支援教育の充実

自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するキャリア教育の展開

知床未来中ノートのきまり

- ・丁寧な字で書こう
- ・日付・曜日を書こう
- ・課題は大きめに書こう
- ・重要な内容は色分けして書こう
(カラフルになり過ぎない)
- ・左端にページ数や問題番号を書こう
- ・先生の発言や友達の意見、自分の考えを書こう
- ・まとめをしっかりと書こう



ふるさとの未来をつくる地域を学ぶ学習



クマ学習

魚市場見学

クルージング体験

北海道羅臼高等学校の教育【企画編】



校章
尾白鷺が大空を飛翔する姿に、校歌に託された『からだつよく、こころさえぎえ』の理念を示す

校訓
「知床の自然のごとく厳しく美しく
羅臼岳のごとく悠然と」

高等学校OPENプロジェクト (北海道教育委員会指定事業)
を実施しています (H30~R2)

期待される成果

高校生のうちに地元地域を知ることにより、地元への定着やUターンが促進される。

地域の活動に高校生が参画することにより、地域活力の向上へ貢献。

具体的な取組

地域課題の解決等を通じた学習を、町教委をはじめとする各関係機関と協働し、各教科・科目や学校設定科目等において体系的に実施し、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成します。

地域の特性や教育資源を生かしたキャリア教育

ふるさと羅臼町の課題理解・解決への手立て

- ↓ 十二年間を見通したマイ・ノートの作成
- ↓ 地域人材による教育講演会
- ↓ インタビュの実施
- ↓ 町内各種行事への参加
- ↓ さまざまな自然環境科目群
- ↓ ふるさと高校生議会の開催
- ↓ ボランティア活動の実施
- ↓ 地域産業の実態把握に向けた調査



地域の理解を深め、知床羅臼のためにできることを考察し、提案・実践できる力を養うとともに、自己実現に向けたキャリア教育の充実を図ります。

令和元年6月12日(水)「羅臼町幼小中高一貫教育研究会 幼稚園会 講演会」
講演『幼稚園教育と小学校教育のつながりについて』
講師：北海道根室教育局義務教育指導班 指導主査 長谷川 順子氏

・幼児教育とは…?⇒学校の様に平仮名の書き方を教わったりするのではなく・・・
遊びの様々な場面 ⇒「どうして?」「不思議!」「もっと知りたい!」と学びに向かう力(土台作り)を育んでいる。
先生たちは何をしてい ○○○ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を方向性にして、保育にあたっている。

健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり
思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

→1つずつピックアップしたり、ここの指導しますというのではない。

この(左の)写真から、どんなこと(姿)を想像し、どう援助します



傾斜の角度などを工夫出来る援助をするかな?

自分なら、何を考えているのか、言葉で伝える援助していく



小グループに分かれ、意見交流をしました。

後ろの女の子は、どんな事を思っているのかな?

…など短い時間ではありましたが、たくさんの意見が出て、交流することが出来ました。

生活科「学校探検」の授業 → 学校の階段を上る時 … 段数を数える ⇒ 算数
→ 先生の名前や標識を見る… 文字や図を見る・読む ⇒ 国語

小学校に行って、1から学ぶのではなく、幼稚園での体験(学び)と学校での学びを関連付けられる所がたくさん!

今回の合同研修で、たくさんの幼稚園・小学校の先生たちが集まり、学び合うことが出来ました。これからも、子どもたちのために、繋がりのある教育(学びの接続)をしていきたいと思ひます!



北海道羅臼高等学校の教育【企画編】



校章

尾白鷺が大空を飛翔する姿に、校歌に託された『からだつよく、こころさえざえ』の理念を示す

校訓

「知床の自然のごとく厳しく美しく
羅臼岳のごとく悠然と」

高等学校OPENプロジェクト (北海道教育委員会指定事業)

を実施しています (H30~R2)

期待される成果

高校生のうちに地元地域を知ることにより、地元への定着やUターンが促進される。

地域の活動に高校生が参画することにより、地域活力の向上へ貢献。

具体的な取組

地域課題の解決等を通じた学習を、町教委をはじめとする各関係機関と協働し、各教科・科目や学校設定科目等において体系的に実施し、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成します。

↓
地域の特性や教育資源を生かしたキャリア教育

↓
ふるさと羅臼町の課題理解・解決への手立て

↓
十二年間を見通したマイ・ノートの作成

↓
地域人材による教育講演会

↓
インターシップの実施

↓
町内各種行事への参加



↓
さまざまな自然環境科目群

↓
ふるさと高校生議会の開催

↓
ボランティア活動の実施

↓
地域産業の実態把握に向けた調査

地域の理解を深め、知床羅臼のためにできることを考察し、提案・実践できる力を養うとともに、自己実現に向けたキャリア教育の充実を図ります。